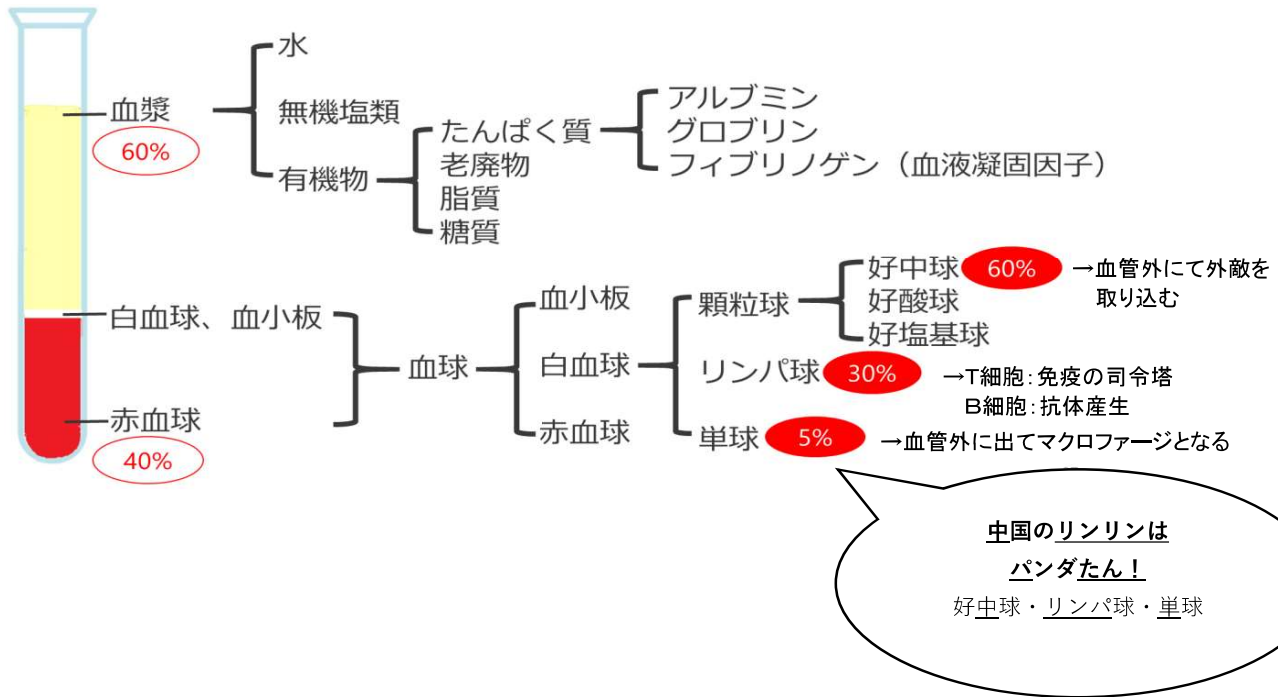


第2章
資料3 血液の構成



血漿タンパク

種類	アルブミン	グロブリン	フィブリノゲン
キーワード	浸透圧、薬との結合	免疫、抗体	血液凝固
機能	<ul style="list-style-type: none"> 血液の浸透圧を保持する ホルモンや医薬品成分と複合体を形成し、代謝や排泄を受けにくくする 	<ul style="list-style-type: none"> その多くが免疫グロブリンと呼ばれ、免疫反応のうち抗体として働く 	<ul style="list-style-type: none"> フィブリノゲンは、血小板から放出される酵素によりフィブリンとなり、出血を止める
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> アルブミンと複合体を作った成分は、肝臓で代謝されず、腎臓でろ過されない 	<ul style="list-style-type: none"> 免疫グロブリンにより肥満細胞が刺激され、刺激物質であるヒスタミンやプロスタグランジンなどが放出される 	

赤血球

血液中の割合	40%
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 酸素を運搬する ヘモグロビンを含む
ヘモグロビン	<ul style="list-style-type: none"> 鉄を含んだ赤色色素である ヘム鉄+グロビン(タンパク)でできている 産生には鉄分が必要である
貧血	<ul style="list-style-type: none"> 鉄欠乏性貧血：鉄製剤で改善できるものは鉄欠乏性貧血のみである ビタミン欠乏性貧血：特に、赤血球産生に必要なビタミンB12の不足によって生じる巨赤芽球貧血を「悪性貧血」と呼ぶ